



環境放射能除染学会 第17回講演会

「福島原発事故後の10年の歩みと将来展望」
併催 「減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク 会合」

福島原発事故後、10年を迎えようとしています。福島等における環境回復、再生の取り組みは着実に進んでいますが、今後は福島等の復興に向けた未来志向の取り組みや県外最終処分に向けた減容化・再生利用の技術的課題に取り組んでいかなければなりません。

本講演会では、環境省や有識者からの講演を通して、これまでの10年の総括と今後の展望について考えてみたいと思います。

また、中間貯蔵・環境安全事業(株) (JESCO) と共同で進めている「減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク」の会合も併催します。会合ではJESCOが環境省から委託を受けて実施している除去土壌等の減容等技術実証事業(以下「技術実証事業」)の成果発表会(第1回)を行います。技術実証事業の成果を広く情報発信する初めての取り組みです。総合ディスカッションでは専門的な意見交換に加え、次世代を担う若い聞き手からの積極的なコメントも期待しています。

- 主 催：一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会
(通称：環境放射能除染学会)
- 共 催：「減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク」の会合は
中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) との共催です。
- 日 時：2021年1月29日(金) 10時30分～17時00分(途中、環境放射能除染学会総会開催)
- 形 式：オンライン講演会 (web ツール：Webex)
- 定 員：200名(会員および先着申込優先)
- 参加費：無料
- 連絡先：環境放射能除染学会事務局 Mail☒：info@khjosen.org

申込方法：メールにて(info@khjosen.org宛) お申込ください。

件名を『1月29日講演会申込』とし、氏名・勤務先名称・所属部署・メールアドレス(オンライン講演会に参加するURLの送付先アドレス)・(会員/非会員)の区別を明記ください。こちらより受付番号の返信を致します。

*講演会に参加するwebツールのアクセスURLは、開催数日前を目途にメールにてお知らせします。

《プログラム》(予定)

10:30	<p>開会</p> <p>森田 昌敏 (環境放射能除染学会 理事長)</p> <p>■司会進行 倉持 秀俊 (環境放射能除染学会 理事 (国立環境研究所))</p>
10:30~11:15	<p>講演1) 福島原発事故後10年の環境再生の歩みと将来展望(仮)</p> <p>環境省 環境再生・資源循環局環境再生施設整備担当参事官室 大野 皓史</p>
11:15~12:00	<p>講演2) 10年の技術的対応の総括と今後の技術的課題(仮)</p> <p>国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 大迫 政浩</p>
	<p>昼食休憩 12:00~13:00</p> <p>環境放射能除染学会 総会 13:00~13:30 (予定)</p>
14:00~17:00	<p>減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合~技術実証事業成果発表会(第1回)</p> <p>中間貯蔵・環境安全事業(JESCO)/環境放射能除染学会 共催</p>
14:00~	<p>開会</p> <p>森田 昌敏 (環境放射能除染学会 理事長)</p> <p>小林 正明 (環境放射能除染学会 副会長 (JESCO 代表取締役社長))</p>
14:05~14:15	<p>技術実証事業の概要の紹介</p> <p>日置 潤一 (JESCO 中間貯蔵事業部 次長)</p> <p>今回成果を発表する技術実証事業は、減容化・再生利用の技術開発の体系においてどこに寄与する技術なのか、概略を説明します。</p>
14:15~16:55	<p>技術実証事業の成果発表</p> <p>グループ1. 除去土壌の再生利用等の技術開発</p> <p>■進行 勝見 武 (京都大学大学院地球環境学堂・学舎長)</p> <p>◆発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大林組 『除去土壌の建設資材化のための品質調整システム技術実証』 ・(株)安藤・間 『連続式土壌濃度測定分別装置を用いた土壌分別および分別しやすい土壌改質の実証』 ・鹿島建設(株) 『高含水・高粘性の農地除去土壌に含まれる草木類の選別除去を可能にする土質改良とふるい分けによる減容化と農地再生利用促進システムの実証・検証』 ・(株)大林組 『埋立時における粉塵等発生抑制技術』 <p>グループ2. セシウムの効率的分離による除去土壌等の減容の技術開発</p> <p>■進行: 川瀬 啓一</p> <p>(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 企画調整室 次長)</p> <p>◆発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立造船(株) 『ばいじん等からのCs分離回収とその安定化技術の実証』 ・鹿島建設(株) 『除去土壌中の放射性Cs含有粘土の分離性向上を目指した物理的解泥技術の実証』 ・鹿島建設(株) 『磁気分離・マイクロバブル浮選を用いた放射性Cs含有細粒分の分離による減容技術の検証』 ・クボタ環境サービス(株) <p>『熔融技術による分級後細粒土壌の高度減容化処理に関するプラント実証評価』</p> <p>総合ディカッション</p> <p>■進行: 大迫 政浩</p> <p>(環境放射能除染学会 会長 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長))</p> <p>グループ1・2の発表を振り返りつつ、実証事業者様や専門家の先生方とディスカッションの他、ご参加の院生・学生などの皆様からの今後の技術開発に向けた率直なコメントを期待しています。</p>
17:00	<p>閉会</p>